

「落札希望順位」及び「受注可能件数」による落札候補者の決定について

平成22年4月から、事後審査型条件付一般競争入札の落札候補者は、次のとおり「落札希望順位」及び「受注可能件数」により決定します。

1. 「落札希望順位」及び「受注可能件数」について

① 落札希望順位

同一の入札（開札）日に手持ち工事の制限数を超える工事（予定価格500万円以上の工事）の落札候補者になった場合は、落札候補者が開札後に受注したい工事を選んで事後審査資料を提出していましたが、入札参加者の受注の希望順に従って、自動的に落札候補者を決定できるように、入札参加資格確認申請書に「落札希望順位」の欄を新たに設けました。

同一入札（開札）日の複数案件の入札に参加するときは、受注したい順位を入札参加資格確認申請書の「落札希望順位」欄に記載してください。

② 受注可能件数

同一入札（開札）日の複数案件の入札に参加するが、「手持ち工事数の制限」以外に自社の都合（技術者等）で全ての案件を受注できない場合は、受注することができる件数を入札参加資格確認申請書の「受注可能件数」欄に記入してください。**（同一入札日に参加する案件全体に対して設定してください）**

「手持ち工事数の制限」以外に受注可能件数に制限がない場合や入札に参加した全ての案件が受注可能である場合は、記入不要です。

2. 落札候補者の決定方法

① 同一の開札日に複数の案件がある場合は、案件ごとに落札候補者の順位を決め、全ての開札を行った後に、それぞれの案件の第1位の者から優先に落札候補者を決定します。（希望順位より落札候補者順位を優先します。）

② 全ての案件の開札後、複数の案件で落札候補者の順位が第1位となる者がある場合は、手持ち工事数の制限、又は、受注可能件数まで申請書に記載された落札希望順に従って落札候補者として決定します。

制限を超えた案件については、その者の入札を無効とし、次順位者を落札候補者とします。

この場合において、次順位者が①で既に手持ち工事の制限数を超える場合は、さらに次の順位者を落札候補者とし、以降これを繰り返すものとします。（例1）

③ 落札候補者となった複数の案件で「落札希望順位」に1件でも空白がある又は順位が明白でない場合は、書かれている数字にかかわらず希望順位を公告番号順とします。（例2・例3）

④ 落札候補者となった複数案件の申請書の受注可能件数欄に異なる件数が記載されている場合は、最小値（空白を除く。）の件数を受注可能件数とします。（例4）

3. 事後審査書類を提出しなかった場合の措置

落札候補者になったにもかかわらず、事後審査に必要な書類を期日までに提出しなかった場合、又は事後審査の結果、入札参加資格要件を満たしていなかった場合は、平成22年10月1日から指名停止措置の対象となります。

自社において受注している案件の進捗状況、技術者等の配置状況を十分に把握したうえで申請してください。

4. その他注意事項

平成22年4月から「事後審査型条件付一般競争入札参加資格確認申請書」の様式を変更しますので、申請の際には従来の様式と取り違いのないように注意してください。

(例1) 落札希望順位に従って落札候補者を決定する場合

○条件：A社は手持ち工事件数1件、B社およびC社は手持ち工事件数0件とする。

		開 札 時			落札候補者決定
		落札候補者順位 第1位	第2位	第3位	
公告1 500万円以上	}	A社 希望順位 3 ※1 可能件数 空白	B社 希望順位 2 可能件数 1	C社 希望順位 1 可能件数 空白	A社落札候補者
公告2 500万円以上		A社 希望順位 2 ※1 可能件数 空白	C社 希望順位 2 可能件数 空白	B社 希望順位 5 可能件数 1	A社落札候補者
公告3 500万円以上		B社 希望順位 4 ※2 可能件数 1	A社 希望順位 1 ※3 可能件数 空白	C社 希望順位 5 可能件数 空白	C社落札候補者
公告4 500万円以上		A社 希望順位 4 可能件数 空白	B社 希望順位 1 ※3 可能件数 1	C社 希望順位 4 可能件数 空白	C社落札候補者
公告5 500万円以上		B社 希望順位 3 可能件数 1	C社 希望順位 3 可能件数 空白	A社 希望順位 5 可能件数 空白	B社落札候補者
公告6 500万円未満		A社 希望順位 6 ※4 可能件数 空白	B社 希望順位 6 可能件数 1	C社 希望順位 6 可能件数 空白	A社落札候補者

※1：手持ち工事件数の制限の範囲内で希望順に決定

※2：受注可能件数が1のため次の落札候補者となる。

※3：希望順位が1でも、第一落札候補者から優先に決定するため、A社は手持ち制限、B社は受注可能件数を超えるので次の候補者となる。

※4：500万円未満は手持ち件数に含まないため落札候補者となる。

(例2) 落札希望順位が不明である場合

		開 札 時			落札候補者決定
		落札候補者順位 第1位	第2位	第3位	
公告1 500万円未満	}	A社 希望順位 1 ※4 可能件数 1	B社 希望順位 2 可能件数 空白	C社 希望順位 1 可能件数 空白	A社落札候補者
公告2 500万円以上		A社 希望順位 1 可能件数 1	C社 希望順位 2 可能件数 空白	B社 希望順位 1 可能件数 空白	C社落札候補者

※4：順位が不明であるため公告順に受注可能件数まで決定

(例3) 落札希望順位に空白がある場合

		開 札 時			落札候補者決定
		落札候補者順位 第1位	第2位	第3位	
公告1 500万円未満	}	A社 希望順位 空白 ※5 可能件数 1	B社 希望順位 2 可能件数 空白	C社 希望順位 1 可能件数 空白	A社落札候補者
公告2 500万円以上		A社 希望順位 1 可能件数 1	C社 希望順位 2 可能件数 空白	B社 希望順位 1 可能件数 空白	C社落札候補者

※5：希望順位に空白があるため公告順に受注可能件数まで決定

(例4) 受注可能件数に異なる件数が記載されている場合

		開 札 時			落札候補者決定
		落札候補者順位 第1位	第2位	第3位	
公告1 500万円未満	}	A社 希望順位 1 ※6 可能件数 1	B社 希望順位 2 可能件数 空白	C社 希望順位 1 可能件数 空白	A社落札候補者
公告2 500万円以上		A社 希望順位 2 可能件数 2	C社 希望順位 2 可能件数 空白	B社 希望順位 1 可能件数 空白	C社落札候補者

※6：受注可能件数に異なるものがあるため、希望順位の順に最小値の1まで決定